

東舞子

2017/10/31 (11月号)

神戸市立東舞子小学校

平成29年度学校だより

<http://www.kobe-c.ed.jp/hmi-es>

しあわせ あふれる 音楽の力

菊薫る季節、秋たけなわとなりましたが、子供たちは、11月10日・11日の音楽会本番へ向けて、各学年で取り組む歌唱曲や合奏曲の発表に磨きをかけるため、一生懸命練習に取り組んでいます。当日は、是非ご来校いただき、子供たちの練習の成果を会場でお聴きください。また、10月に実施されましたクリーン作戦(P.T.A・青少協主催)と学校オープンデーには、多数の保護者の皆様に参加、参観していただき、ありがとうございました。

さて、本校では、毎年音楽会を実施するにあたり、代表委員会を中心としてキャッチコピーを考え、音楽会へ向けての全校生の合言葉としています。今年のキャッチコピーは「心一つに とどけよう！ しあわせ あふれる 音楽の力」です。私たちは、辛いときや悲しいとき、嬉しいとき、楽しいときなど、音楽や歌を通して、元気や勇気、夢や希望を与えてもらうことが度々あります。東日本大震災では、被災地の支援を行うプロジェクトの一環として、復興を応援するテーマソングとして「花は咲く」が作詞・作曲され、今も心の支えとして各地で歌い継がれています。今回の音楽会ではプログラムに載っていませんが、大好きな歌の一つなので、1番の歌詞を紹介します。

「花は咲く」 作詞：岩井 俊二 作曲：菅野 よう子

真っ白な 雪道に 春風香る わたしは なつかしい あの街を 思い出す

叶えたい 夢もあった 変わりたい 自分もいた 今はただ なつかしい あの人を 思い出す

誰かの歌が聞こえる 誰かを励ましてる 誰かの笑顔が見える 悲しみの向こう側に

花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に 花は 花は 花は咲く わたしは何を残しただろう

この歌は、メロディーも素敵ですが、歌詞の一言一句に大変力があると思います。1番の歌詞の最後に「いつか生まれる君に わたしは何を残しただろう」というフレーズがあり、2番の歌詞でも繰り返して出てきます。そして、最後に、「いつか恋する君のために」で締めくくられています。この歌詞を聴く度に、心が折れそうになったときの自分自身への応援メッセージにしている人が、少なからずおられるのではないのでしょうか！スポーツの世界でも、イチロー選手や錦織 圭選手など有名なプロスポーツ選手が、練習中や試合前に音楽を聴くことで心の支えにしたり、集中力を高めたりするそうです。このように心に直接響く音楽は、人の心を癒す効果など、何かしらの力を秘めています。

音楽会では、どの学年の子供たちも、練習を通してイメージを膨らませてきたことを歌声や楽器の音色に乗せて表現します。単なる音ではなく、メッセージのある音や歌詞を如何に伝えることができるのかに取り組んでいます。一人一人の願いや思いが込められ、心がひとつになった音楽会になることを心から願っています。

校長 梅鉢 泰博